

鹿児島県感染症情報

2022年 第19週報 (5月9日~5月15日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、5月15日時点での届出総数は73983例です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的として、ワクチン接種を進めています。5月14日はイギリスの医師ジェンナーが世界で初めて牛痘種痘を開始した日です。それから180年余りの歳月を経て、1980年WHOは「天然痘根絶宣言」を行い、天然痘は人類が根絶した最初の感染症となりました。

1977年天然痘はソマリアで発生した患者を最後に地球上から姿を消しました。しかし、天然痘ウイルスは「生物テロ対策」研究用として、現在、アメリカ合衆国とロシアの2カ国のみが保有しているといわれています。日本にはバイオテロ対策として、1975年に千葉県血清研究所が開発した乾燥細胞培養弱毒種痘ワクチン「LC16・チバ」5600万人分が国家備蓄として保管され、抗体力価の検定も行われています。

ワクチンに関連した記念日としては、2月14日「予防接種記念日」：1790年2月14日に秋月藩（福岡藩の支藩、現在の朝倉市）で国内初の人痘種痘が行われ成功した日です。7月6日「ワクチンの日」：1885年7月6日は、フランスの科学者パスツールが開発した狂犬病ワクチンが接種された日です。パスツールは、世界初となるワクチン接種を行ったジェンナーに敬意を示し、「ワクチン」と命名したといわれています。ワクチンは、英語「vaccine」からの外来語で、「牝牛」を意味するラテン語「vacca（ワッカ）」に由来しています。

令和4年の本県における梅毒の届出数は5月15日時点で47例となっています。下図には2013年以降の全国及び本県の男性・女性の年別推移を示しています。2022年（5月15日時点での集計値）をみると、本県は全国の水準を大幅に上回って推移しています。早期発見・早期治療により感染拡大防止に努めてください。



令和4年本県における梅毒の届出内訳をみると、保健所別では鹿児島市、始良、鹿屋、川薩の順に多く、年齢別では男性、女性ともに20歳代が多い状況です。病型では早期顕症梅毒Ⅰ期、早期顕症梅毒Ⅱ期、無症状病原体保有者の順となっています。発病日が明記されている症例をみると、発病から初診までに要した日数は約15.2日で、初診から診断までに要した日数は約4.9日となっています。梅毒は早期の薬物治療で完治が可能な疾患です。しかしながら、完治しても、感染を繰り返すことがあり、再感染の予防が必要です。治療が遅れると後遺症が残ることもあります。

第19週の定点報告疾患の報告数をみると、8週連続で流行発生警報域及び流行発生注意報域の疾患はありませんでした。また、第16~18週と比較すると、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱が増加しそうな兆しがあります。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（結核性リンパ節炎1例、気管支結核1例）
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例（血清型/毒素型：O111/VT1）
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	発生報告なし 追加梅毒1例：第18週
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症4754例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91、小児科定点53です。（通常より各1減）
- ・第19週の定点把握対象疾患の総報告数は538人で、前週より236人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

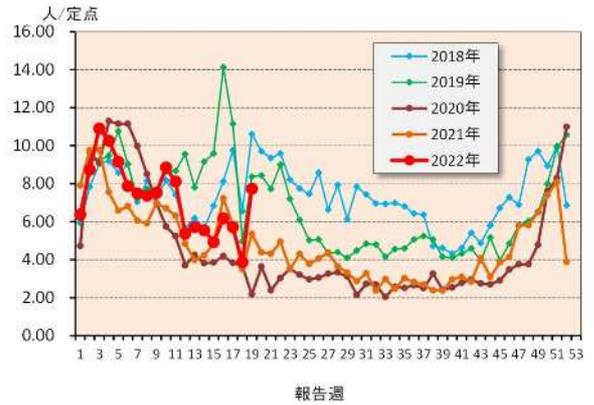
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第19週の感染性胃腸炎の報告数は410人で、前週より205人多く、定点当たりの報告数は7.74であった。

年齢別では、1歳（85人）、2歳（55人）、3歳（49人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、大口保健所（15.00）、鹿児島市保健所（13.31）、鹿屋保健所（12.60）の順に多い。

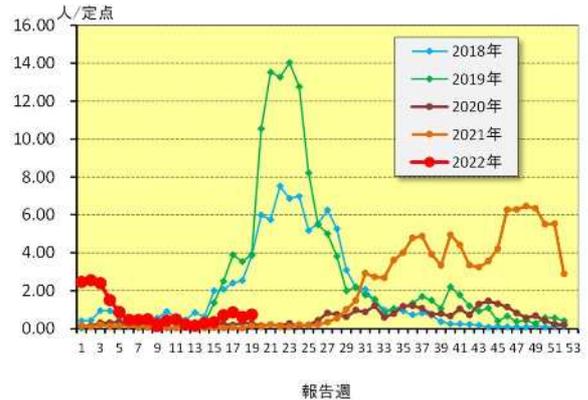


(2) 手足口病

第19週の手足口病の報告数は40人で、前週より7人多く、定点当たりの報告数は0.75であった。

年齢別では、1歳（17人）、2歳（8人）、3歳（6人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（3.00）、鹿屋保健所（1.80）、名瀬保健所（1.33）の順に多い。



(3) 咽頭結膜熱

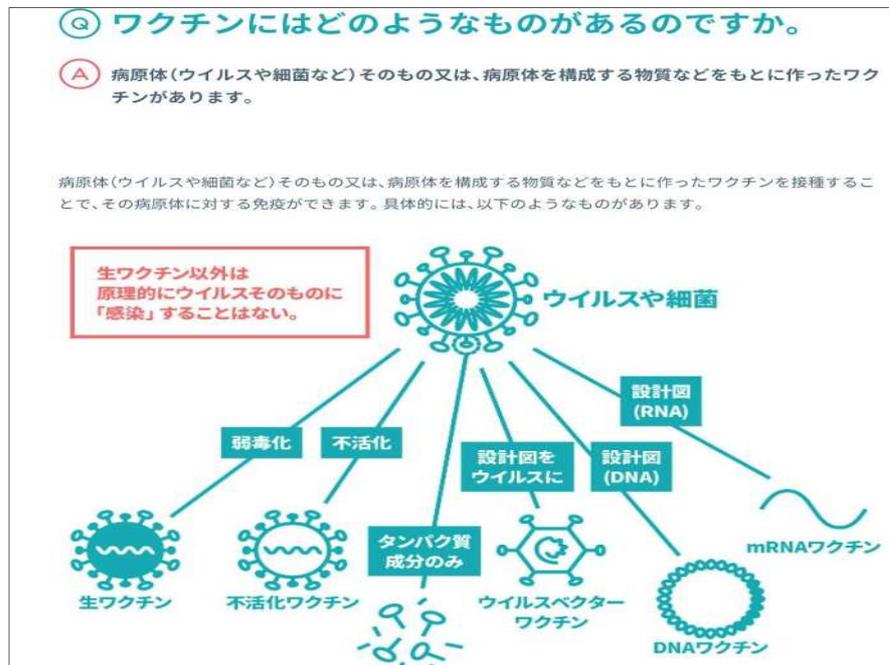
第19週の咽頭結膜熱の報告数は37人で、前週より14人多く、定点当たりの報告数は0.70であった。

年齢別では、1歳（15人）、6～11ヶ月（10人）、2歳（8人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（1.50）、鹿児島市保健所（1.38）、出水保健所、始良保健所（それぞれ1.00）の順に多い。



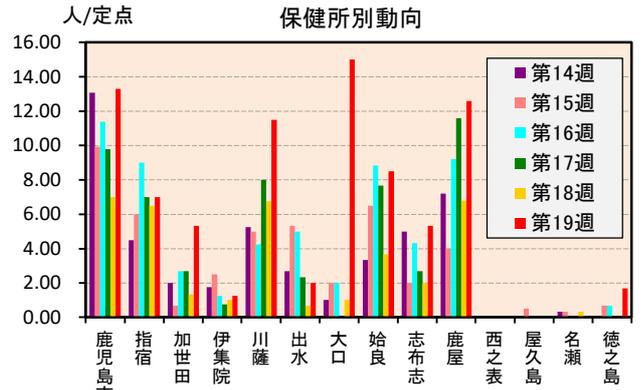
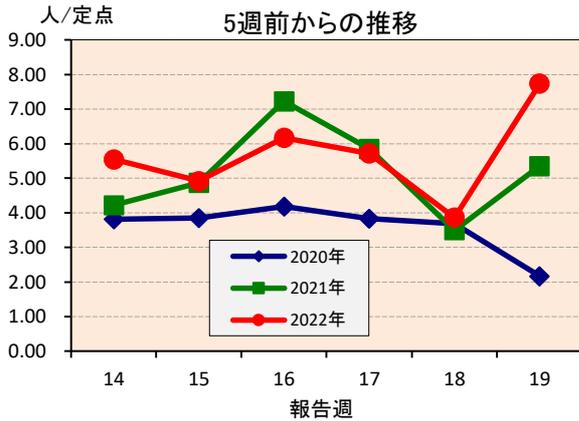
【新型コロナウイルス感染症関連情報】



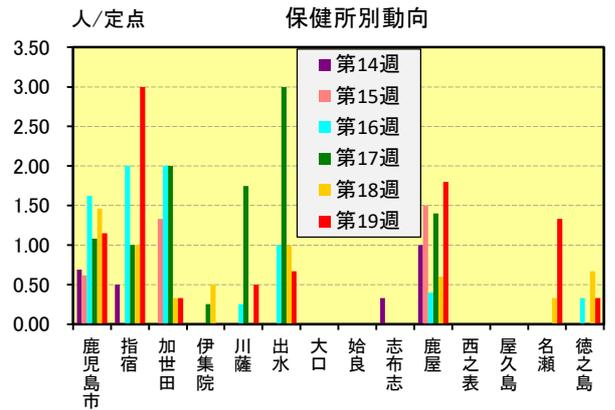
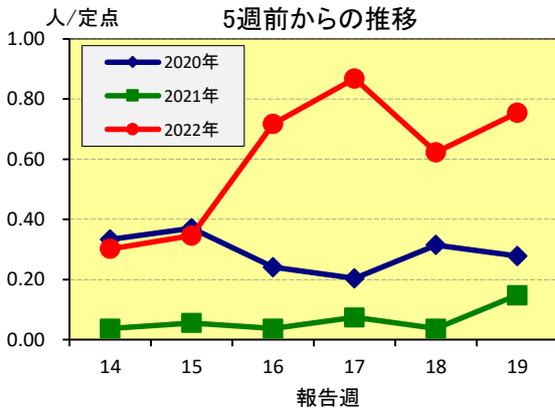
資料:厚生労働省「新型コロナウイルスワクチンQ&A」より

上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

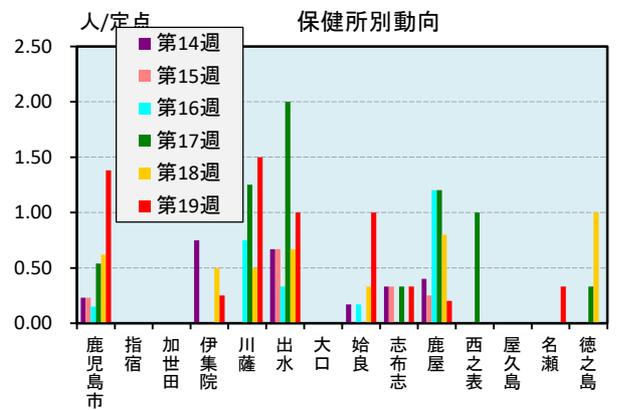
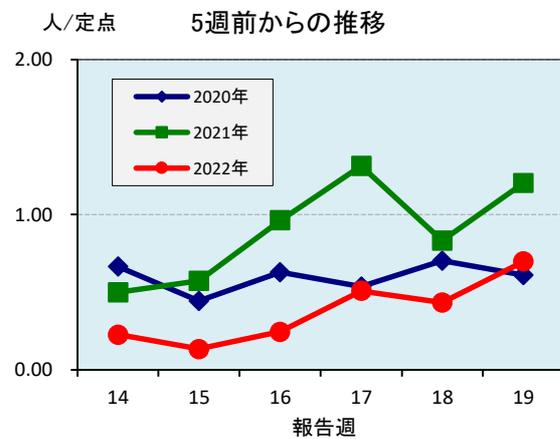
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

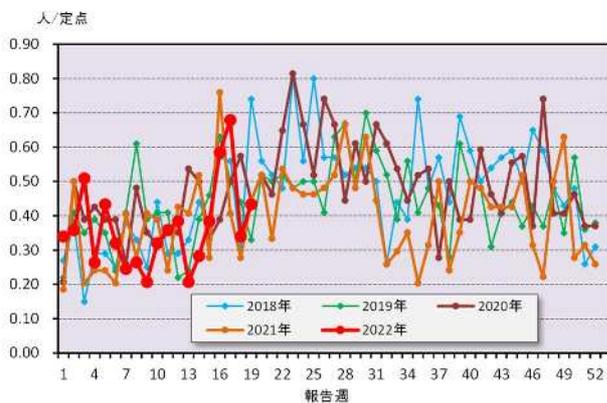


(3) 咽頭結膜熱

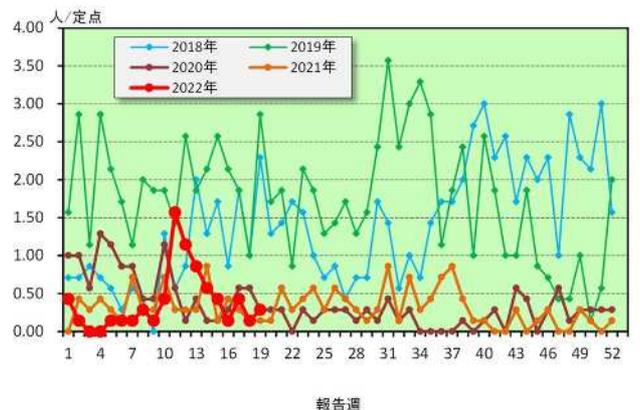


☆注目される感染症の発生状況

★ 突発性発しん（鹿児島県）



★ 流行性角結膜炎（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第19週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	37	0.70	487
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.23	377
	○ 感染性胃腸炎	410	7.74	7,287
	○ 水痘	5	0.09	103
	○ 手足口病	40	0.75	866
	伝染性紅斑	-	-	12
	○ 突発性発しん	23	0.43	366
	ヘルパンギーナ	6	0.11	93
	流行性耳下腺炎	1	0.02	39
	RSウイルス感染症	2	0.04	683
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	○ 流行性角結膜炎	2	0.29	52
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	4
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		538	0	10,384

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2022年14週)	4週前 (2022年15週)	3週前 (2022年16週)	2週前 (2022年17週)	1週前 (2022年18週)	今週 (2022年19週)
インフルエンザ	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -
RSウイルス感染症	報告数 4	報告数 4	報告数 1	報告数 3	報告数 2	報告数 2
	定点当り 0.08	定点当り 0.08	定点当り 0.02	定点当り 0.06	定点当り 0.04	定点当り 0.04
咽頭結膜熱	報告数 12	報告数 7	報告数 13	報告数 27	報告数 23	報告数 37
	定点当り 0.23	定点当り 0.13	定点当り 0.25	定点当り 0.51	定点当り 0.43	定点当り 0.70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5	報告数 15	報告数 9	報告数 14	報告数 6	報告数 12
	定点当り 0.09	定点当り 0.29	定点当り 0.17	定点当り 0.26	定点当り 0.11	定点当り 0.23
感染性胃腸炎	報告数 294	報告数 256	報告数 327	報告数 303	報告数 205	報告数 410
	定点当り 5.55	定点当り 4.92	定点当り 6.17	定点当り 5.72	定点当り 3.87	定点当り 7.74
水痘	報告数 7	報告数 7	報告数 9	報告数 4	報告数 4	報告数 5
	定点当り 0.13	定点当り 0.13	定点当り 0.17	定点当り 0.08	定点当り 0.08	定点当り 0.09
手足口病	報告数 16	報告数 18	報告数 38	報告数 46	報告数 33	報告数 40
	定点当り 0.30	定点当り 0.35	定点当り 0.72	定点当り 0.87	定点当り 0.62	定点当り 0.75
伝染性紅斑	報告数 2	報告数 2	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り 0.04	定点当り 0.04	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -
突発性発しん	報告数 15	報告数 20	報告数 31	報告数 36	報告数 18	報告数 23
	定点当り 0.28	定点当り 0.38	定点当り 0.58	定点当り 0.68	定点当り 0.34	定点当り 0.43
ヘルパンギーナ	報告数 -	報告数 7	報告数 2	報告数 8	報告数 7	報告数 6
	定点当り -	定点当り 0.13	定点当り 0.04	定点当り 0.15	定点当り 0.13	定点当り 0.11
流行性耳下腺炎	報告数 1	報告数 2	報告数 2	報告数 5	報告数 3	報告数 1
	定点当り 0.02	定点当り 0.04	定点当り 0.04	定点当り 0.09	定点当り 0.06	定点当り 0.02
急性出血性結膜炎	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -
流行性角結膜炎	報告数 4	報告数 3	報告数 1	報告数 3	報告数 1	報告数 2
	定点当り 0.57	定点当り 0.43	定点当り 0.14	定点当り 0.43	定点当り 0.14	定点当り 0.29
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 -	報告数 -	報告数 1	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り 0.08	定点当り -	定点当り -	定点当り -
無菌性髄膜炎	報告数 -	報告数 -	報告数 1	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り 0.08	定点当り -	定点当り -	定点当り -
マイコプラズマ肺炎	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -	報告数 -
	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -	定点当り -

